

令和 2 年度

3 月補正予算説明資料

府 中 市

1 予算編成方針

3月の一般会計補正予算は、新型コロナウイルスの影響により収益が落ちこんだ事業者に対する支援のほか、「新しい生活様式」に対応するためのICT化や観光事業を推進するための経費を計上するとともに、不用となる経費を減額した結果、歳入・歳出それぞれ4億4,919万円の予算を減額しました。

2 主な補正内容

コロナショック ～事業の継続、感染防止対策～

○頑張る飲食事業者応援事業負担金 15,190千円 【商工労働課、新規】

現在、広島県が実施している売上げが減少し、かつ感染予防対策をとっている飲食店等に対する応援金（1店舗あたり30万円＋アクリル板等最大20万円）について市がその一部を負担し、支援します。
《一般財源[※]15,190千円》

○指定管理者運營業務支援金 15,000千円 【総務課、新規】

市の休業要請に協力し、利用料金収入等が大幅な減収となった指定管理者に対して、今後も事業継続の意欲があり、感染症予防対策を講じている場合について、支援金を支給することで公共施設の安定的な管理運営を図ります。
《一般財源[※]15,000千円》

○(独)府中市病院機構への減収補填 350,000千円 【医療政策課、新規】

新型コロナウイルスによる受診控えなどによる収益の悪化や、その感染防止対策に必要な経費が要因となり、今年度の資金不足が想定されることから、不足する資金について貸付を行うことにより、住民にとっての安心の基盤となる地域医療の確保に取り組みます。
《一般財源 350,000千円》

Withコロナ・Afterコロナ ～経済活動の回復、今後の対策～

○庁内ネットワークの刷新による業務の効率化 19,678千円 【情報政策室、新規】資料1

国の基準に基づき、セキュリティを強化したうえで、行政情報を扱うLGWAN環境と外部との連携に必要なインターネット環境を1台のPCでアクセス可能にすることで、情報収集や外部連携環境の向上を図る。また、職員端末のモバイル化、各保育所へのネットワーク整備、庁外からのリモートアクセス環境の整備などにより緊急時の体制整備や働き方改革の推進を行います。
《一般財源[※]19,678千円》

○ICTを活用した生涯学習活動への展開 31,621千円 【教育政策課、新規】当初予算説明資料35

公民館等社会教育施設のICT環境整備を行い、ICT活用や情報アクセスの拠点施設と位置付け、スマホ等情報端末の使い方講座、オンライン講座を実施します。
《一般財源[※]31,621千円》

○庁舎内トイレ感染防止対策事業 13,625 千円 【総務課、新規】

新型コロナウイルス感染症対策として、多くの住民が利用する市役所内のトイレを非接触型の照明や手洗器、便器へと改修します。

《一般財源[※]13,625 千円》

○観光地スマート化事業補助金 15,000 千円 【観光課、継続】**当初予算説明資料 16**

観光地のトイレなどの受入環境を整備する団体等に対して支援する、県の「デジタル技術等を活用した観光地スマート化推進事業補助金」の採択件数の増加に伴い、採択された事業に対する市の上乗せ補助についても増額して支援します。

《一般財源[※]15,000 千円》

○観光資源の観光商品化事業 1,754 千円 【観光課、継続】**当初予算説明資料 17**

観光地域づくりを実践し、地域が磨き上げている観光商品について、旅行会社などの専門家からの目利きや助言を受けるモニターツアーや、郷土愛や意識の醸成を図る目的とした市民・事業者向けのモニターツアーを催行します。

《一般財源[※]1,754 千円》

○GIGA スクールステップアップ事業～校務支援システムの導入～ 55,997 千円 【学校教育課、継続】**当初予算説明資料 6**

校務支援システムを導入することで、記録化された学習履歴データを用いて学習理解度の予測を行うとともに、クラス全体や個のつまずきに応答するための教材研究や授業設計に活用していきます。

《一般財源[※]55,997 千円》

○感染症対策等の学校教育活動継続支援事業 11,600 千円 【学校教育課、継続】

国の3次補正予算の補助金を活用して、学校における消毒液や自動検温システム等の感染防止対策やオンライン学習等に資するICT研修など、学校教育活動を円滑に継続するための取組を行います。

1校あたり 800 千円～2,400 千円程度 《国費 5,800 千円、一般財源[※]5,800 千円》

備考) 一般財源[※]は地方創生臨時交付金の充当対象一般財源を示しています。

3 繰越明許費の補正

(追加)

- ・庁舎整備経費/庁舎営繕工事費 13,625 千円
- ・ドローン推進戦略経費/ドローン戦略会議運営委託料 4,100 千円
- ・文化センター整備経費/耐震補強設計業務委託料 28,906 千円
- ・地域密着型サービス拠点事業経費/地域密着型サービス拠点整備補助金 124,062 千円
- ・放課後児童クラブ施設整備経費/改修工事費 25,030 千円
- ・農業振興対策経費/農業振興ビジョン策定業務委託料 6,000 千円

- ・単市農地改良事業経費／改良工事費 4,468 千円
- ・基幹水利施設補修事業経費／基幹水利施設補修事業負担金 444 千円
- ・小規模崩壊地復旧事業経費／小規模崩壊地復旧工事費 16,161 千円
- ・観光宣伝経費／貸切バス旅行商品造成支援補助金外 46,178 千円
- ・観光施設整備事業経費／シャワー施設設置整備工事費外 10,791 千円
- ・河佐峡施設維持管理経費／営繕工事費 2,200 千円
- ・矢野温泉公園四季の里施設維持管理経費／営繕工事費 4,460 千円
- ・恋しき施設整備経費／営繕工事費 22,000 千円
- ・単市分事業経費／道路改良・舗装工事費 8,779 千円
- ・社会資本整備総合交付金事業（単独分）／道路改良工事費 41,568 千円
- ・周辺地域の魅力ある地域づくりの支援事業経費／道路改良工事費 19,000 千円
- ・安全・安心な通学路の確保事業経費／測量設計業務委託料 14,671 千円
- ・道路構造物の的確な維持管理推進事業経費／道路改良工事費外 118,800 千円
- ・過疎対策事業経費／用地取得費外 22,650 千円
- ・単独事業経費／都市計画マスタープラン見直し支援業務委託料外 7,344 千円
- ・桜が丘団地販売促進事業経費／住宅展示場建築補助金外 32,604 千円
- ・補助事業経費／道路改良工事費外 146,106 千円
- ・住環境整備事業経費／用地取得費外 6,000 千円
- ・消防施設整備経費／防火水槽設置工事費 11,800 千円
- ・教育費／一般事務経費／回線工事費 55,997 千円
- ・情報教育推進経費／情報機器設置場所工事費外 31,621 千円
- ・教育費／新型コロナウイルス感染症対策経費／消耗品費 11,600 千円
- ・地域文化財保全事業経費／指定文化財修理補助金 450 千円
- ・体育施設整備経費／基本設計業務委託料、浄化槽撤去工事費 9,886 千円
- ・災害復旧事業経費／公共土木過年災害復旧事業 11,000 千円

(変更)

- ・電算管理経費／イントラネット設定業務外 変更後 70,564 千円
- ・出口川湧水処理施設整備経費／荒谷封鎖地測量調査業務委託料外 変更後 134,702 千円
- ・商工費／新型コロナウイルス感染症対策経費／飲食業利用促進業務委託料外
変更後 100,451 千円
- ・商工業振興施設整備経費／備品購入費外 変更後 438,704 千円
- ・災害復旧事業経費／農林水産施設災害復旧事業 変更後 72,692 千円

4 債務負担行為の補正

(変更)

- ・府中明郷学園通学バス運行業務（令和3年度～5年度）変更後 109,500 千円

5 特別会計等の補正内容

《国民健康保険特別会計》 5,451 千円 【市民課】

保険基盤安定繰入金等の実績に基づき、一般会計からの繰入金を増額します。

《歳入：繰入金 5,451 千円》

《介護保険特別会計》 △123,648 千円 【介護保険課】

保険給付費等の歳出について実績に基づき減額します。

《歳出：保険給付費△82,563 千円ほか》

《後期高齢者医療特別会計》 △5,000 千円 【市民課】

保険基盤安定繰入金等の実績に基づき、広域連合への負担金を減額します。

《歳出：負担金△5,000 千円》

《病院事業債管理特別会計》 △109,700 千円 【医療政策課】

(独)府中市病院機構への病院施設整備等資金貸付金について、実績に伴い減額します。

《歳出：貸付金△109,700 千円》

《下水道事業会計》 176,385 千円 【上水下水道課】

国の補正予算第3号を活用し、事業を加速化するため、角田ポンプ場改築工事と上下水質センター改築更新工事について前倒しして実施するとともに、市内3箇所の処理場の耐水化の必要性について検討します。

- ・角田ポンプ場改築工事 77,000 千円、上下水質センター改築更新工事 20,729 千円
- ・下水道施設耐水化検討業務 14,044 千円 ほか

《収益的収入△4,303 千円、収益的支出△6,477 千円》

《資本的収入 98,000 千円、資本的支出 96,630 千円》

《病院事業会計》 350,000 千円 【湯が丘病院】

現金預金の有益な運用方法として、(独)府中市病院機構への貸付を前提とした一般会計への貸付を行います。

《資本的支出 350,000 千円》

庁内ネットワークの刷新による業務の効率化【新規】

担当課	総務課情報政策室
電話番号	0847-43-7242（内線 231）

1 事業の目的

庁内 ICT 環境を整備することで、ペーパーレスの推進、手続のオンライン化に繋げ、業務の効率化を行う。また、災害時やコロナ禍における緊急時やテレワーク時におけるリモートアクセス環境を整備・拡充し、緊急時の体制整備や働き方改革の推進を行う。

2 事業内容

(1) インターネット環境の仮想化

国の基準に基づき、セキュリティを強化したうえで物理的に分離されているインターネット環境のネットワーク仮想化を行い、行政情報を扱う LGWAN 環境と外部との連携に必要なインターネット環境を 1 台の PC でアクセス可能にすることで、情報収集や外部連携環境の向上を図る。※令和 2 年度当初予算を繰越により実施

(2) 職員用モバイル端末の配備

庁舎内会議室に整備する専用 Wi-Fi 環境のもと、職員がモバイル端末を用いた会議等を実践し、情報共有の迅速化とペーパーレス化を推進する。モバイル端末は、庁内情報を共有する専用端末が整備されていない職員及び職員分について整備する。

- ・モバイル型 PC 整備 50 台

(3) リモートアクセス環境の整備・拡充

緊急時の体制整備や働き方改革を推進するため、庁外からのリモートアクセス環境の整備を行う。現行のテレワークシステム環境の拡充と災害時・コロナ禍の緊急時対策として、迅速に対応できる安全なリモートアクセス手法の検討と整備を行う。

- ・リモートアクセス用端末の追加整備 10 台
- ・リモートアクセス環境の追加整備（システム導入費、ライセンス費、通信料等）

(4) 保育所へのネットワーク整備

保育所職場での情報共有環境の向上と事務の効率化を図り、業務の負担軽減と充実した保育を行うための保育時間の確保に努める。

3 補正予算額 19,678千円

- ・端末整備費 13,200千円
- ・リモートアクセス環境の構築 3,541千円
- ・保育所へのネットワーク整備費 2,937千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
					※19,678

※地方創生臨時交付金対象一般財源